

「ぐるくる」が「国際ホテル旅館」紙で紹介されました！ ～ホテル・旅館における多言語情報表示ツールとしての活用例～

技術職知財リース事業を行う株式会社ジェイテック(本社:東京都中央区、代表取締役社長:藤本 彰、以下「弊社」といいます)は、当社が事業展開している多言語対応注文支援システム「ぐるくる」の情報が、2016年6月5日発行(第381号)「国際ホテル旅館」(発行:ブライダル産業新聞社)に掲載されましたのでご連絡致します。

◎掲載記事「国際ホテル旅館」(第381号)より

外国人客のスマホを通じて多言語案内

ジェイテック 「ぐるくる」操作・管理もラクラク

紙などにプリントアウトして用意しようとすると、言語の数に比例して紙の枚数も増える。管理が大変になり、翻訳の手間やコストも必要になる。

ジェイテック(東京都中央区)は、スマートフォンを使った多言語表示サービス「ぐるくる」を開発。ホテル・旅館の案内案内やレストランのメニューなど、日本語で書かれてある案内情報の翻訳ツールなどとして活用できる。施設側の管理・運営も簡単になるよう設計されている。サイトの情報はクラウドサーバーにストックされ、情報の追加・変更は管理画面で、日本語で操作できる。より正

紙などにプリントアウトして用意しようとすると、言語の数に比例して紙の枚数も増える。管理が大変になり、翻訳の手間やコストも必要になる。

ぐるくるは、QRコードや NFC タグなどの情報を読み込んでスマートフォンから専用サイトへアクセスし、各種案内や情報を多言語で表示させる。アプリのインストールなどは必要なく、その場ですぐに操作できる。表示言語はスマホに設定されている言語に応じて自動選択するので、外国人客の手持ちのスマホを使って操作してもらえば、スムーズな表示・案内が可能になる。言語の切り替えも、画面上で簡単に操作できる。

施設側の管理・運営も簡単になるよう設計されている。サイトの情報はクラウドサーバーにストックされ、情報の追加・変更は管理画面で、日本語で操作できる。より正

紙などにプリントアウトして用意しようとすると、言語の数に比例して紙の枚数も増える。管理が大変になり、翻訳の手間やコストも必要になる。

紙などにプリントアウトして用意しようとすると、言語の数に比例して紙の枚数も増える。管理が大変になり、翻訳の手間やコストも必要になる。

正確に翻訳された情報を提供したい場合は、専門の翻訳家による文章を入力することもできる。

導入を推進するため、初期費用は0円に設定。クラウド使用料およびサービス利用料が月額で発生する。

生ずるほか、専門の翻訳家による文章翻訳などにオプション料金が発生する。



【「ぐるくる」について】

2015年3月にリリースした「ぐるくる」は、お客様がお手持ちのスマートフォンを使って、NFCタグにタッチする、またはQRコードを読み取るだけで、メニューを注文できるセルフオーダーシステムとして、2016年1月に「注文管理装置および注文管理方法」を発明名称として、特許を取得(特許番号:第5863999号)。

最大13言語に対応するメニュー表示や専用のアプリを必要としない利便性から、QRコードやNFCタグを訪日外国人観光客に読み込んで頂くことで、ホテル・旅館の各種案内や自然災害非常時での案内や周辺ガイドを母国語で表示させることが可能です。又、各地方自治体、商店街などの観光ガイド、お土産屋の商品説明など、インバウンド対策ツールとしての汎用性を備えています。



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック



「ぐるくる」は株式会社ジェイテックの登録商標です。

【本稿・「ぐるくる」についてのお問い合わせ】: 技術本部 TEL:03-6228-7263
または <https://www.gkuru.jp/>

株式会社 ジェイテック

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7 KPP 八重洲ビル

<https://www.j-tec-cor.co.jp/>